

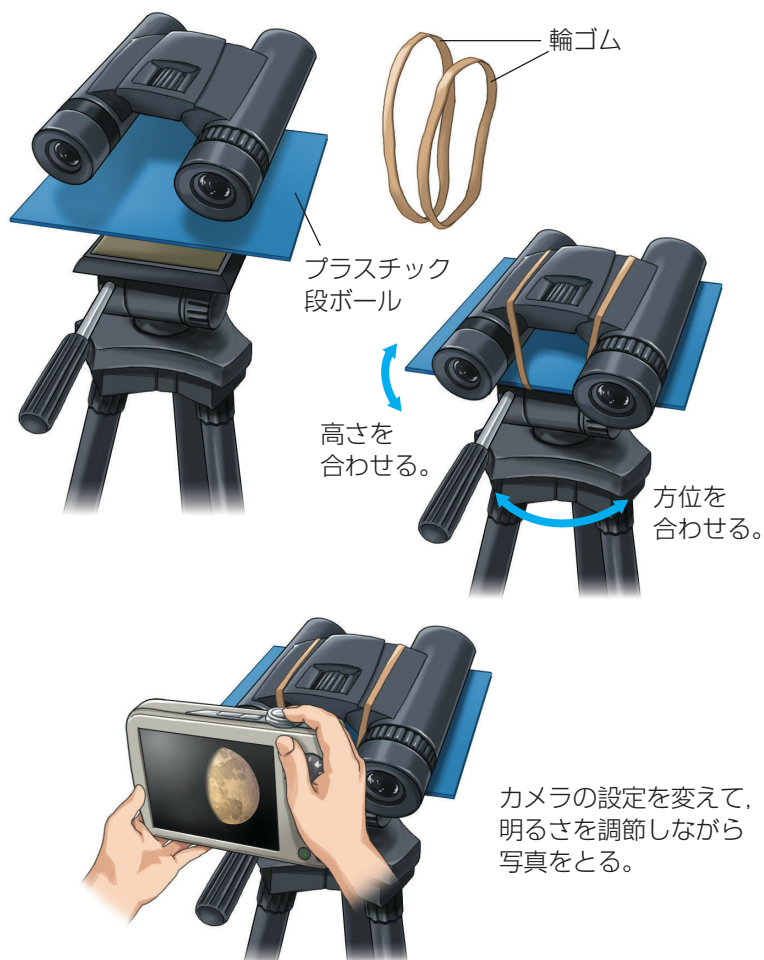
月の写真のとり方

【6年 月の見え方と太陽】

準備 デジタルカメラ、そうがん鏡、三きやく、プラスチック^{だん}段ボール、大きい輪ゴム

とり方

- 1 そうがん鏡を月に向け、月がはっきり見えるようにピントリングと視度調整リングを調整する。
- 2 ピントリングと視度調整リングを動かさないように注意しながら、そうがん鏡を三きやくの台に固定する。
- 3 月が見えるように、三きやくの台の向き（方位と高さ）を調整する。
- 4 そうがん鏡の接眼レンズにカメラを近づけて、カメラのモニターに月が表示されるようにする。
- 5 月が暗すぎる時はより明るく写すように、また、月が明るすぎる時はより暗く写すように、カメラの設定を変えて写真をとる。



クレーター

月の表面に見られるクレーターは、いん石が月にぶつかったときにできたものだと考えられています。

クレーターの大きさは、直径が数100kmにおよぶ大きなものから肉眼では見えない小さなものまでさまざまです。例えば、月の南側にあって、明るく目だつクレーター「ティコ」は、直径が約85kmあります。

